

試合番号 : 439	試合会場 : 池の川さくらアリーナ	観客数 : 0
開始時間 : 12:30	終了時間 : 14:29	試合時間 : 01:59
主審 : 澤 達大	副審 : 内藤 聡美	
トヨタ車体クインシーズ		通算 1勝 1敗 ポイント: -
監督コメント		監督コメント
要約レポート		要約レポート
このほどまでに苦しいシーズン、敗戦のショックから迎えた最終戦、チームの誰も味方したことのない戦いに挑みました。選手、スタッフ、チームの全員が現実を受け止め、気持ちを奮い立たせ、今シーズン最後の重要な外国人選手が得点王をとるようなスタイルから、成長した若い日本人選手が得点を決めて勝つ方向へ進みました。我慢して耐えても、結果につながらないときは迷い、もがき、負のスパイラルにはまって自信を失うこともありましたが、諦めず、誇りに思いつつ、この苦しい最終戦、結果を必ず勝ち取れると信じて、最後まで諦めず、負けても卑屈にならず、無敵な最終戦は一つも、すべては強くなるための糧とていくことを誓います。		21 第1セット 25 25 第2セット 22 25 第3セット 22 25 第4セット 20 第5セット
		3
		1
		KUROBEアクアフェアリーズ
		通算 0勝 2敗 ポイント: -
		監督コメント
		監督コメント
		シーズン最終戦となり、モチベーションを上げて臨んだゲームでした。第1セットを先取したものの、トヨタ車体の巧みな攻撃にリズムを崩され、思うような展開をつくれませんでした。V Cup、Vチャレンジマッチに向けて、チームを強化していきたいと思っております。今後ともご声援よろしくお願いします。
		第1セット、序盤から一進一退の攻防が続くも、中盤にリーのスパイクや畑田のサーブでKUROBEアクアフェアリーズがリードする。KUROBEは終盤もリーの勢いが止まらず、そのままセットを先取した。第2セット、トヨタ車体クインシーズはセッター山形の軽快なトス回しによって、ソロカイテと藪田を中心に得点を重ねる。終盤に入りKUROBEは小西、道下、リーによる連続得点で同点に追い付くが、トヨタ車体は藪田のスパイクによる連続得点で突き放し、セットを取り返した。第3セット、中盤まで互い主導権を握るが、終盤トヨタ車体はソロカイテのブロックから流れを掴みリードする。トヨタ車体はこのリードを守り切り、セットをものにした。第4セット、トヨタ車体はソロカイテにボールを集めリードする。KUROBEもリーを中心に攻撃を組み立て追いあげるが、トヨタ車体はリードを守る。最後はソロカイテのフェイントで、トヨタ車体が勝利を収めた。

試合番号 : 440	試合会場 : 池の川さくらアリーナ	観客数 : 0
開始時間 : 15:30	終了時間 : 17:26	試合時間 : 01:56
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 増岡 三佳子	
ヴィクトリーナ姫路		通算 1勝 1敗 ポイント: -
監督コメント		監督コメント
要約レポート		要約レポート
リーグ最終戦に1年間取り組んできたことを出し切ろうと準備しましたが、力及ばず敗れてしまったことは非常に悔しいです。選手たちは昨日の激戦から今日に向けてできることをやり、よく頑張ってくれたと思います。大きく成長が見られた部分、これからまだまだ向上させなければいけない部分、いろいろなものが見えたりはしていましたが、これから学び成長した姿をお見せできるようにしたいと思います。コロナ禍の中、開催にご尽力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。また、陰ながらでも応援いただいたファン、サポーターの皆様、本当にありがとうございました。		15 第1セット 25 25 第2セット 23 25 第3セット 27 18 第4セット 25 第5セット
		3
		3
		PFUブルーキャッツ
		通算 2勝 0敗 ポイント: -
		監督コメント
		監督コメント
		細かいミスが多いゲームで苦しむ時間もあつたが、概ね自チームで解決して取り切ることができた。最終的に本日の試合で勝利をあげることができた喜びは大きい。リーグを通して選手たちの成長を感じられるシーズンだったと思う。選手たちの頑張りに感謝し、称賛したい。今シーズン、チームを支えてくださった皆様にご心から感謝の意を表したい。また、画面越しに応援してくださった皆様、ありがとうございました。
		第1セット、序盤PFUブルーキャッツはアコスタがブロックの上から強力なスパイクを決める。対するヴィクトリーナ姫路は櫻井がトスを散らして、ブロックの的を絞らせない。中盤になると、PFUは高相が連続でスパイクを決めて点差を広げる。追い付きたい姫路は途中交代のアリョーナが角度的あるスパイクを決めて一矢報いるも、流れは変わらずPFUがセットを先取した。第2セット、姫路はこのセットからスタメンの金杉、孫田のスパイクが決まり得点を重ねる。PFUは高相、志摩のフェイントが効果的に決まり食らいつく。中盤にアコスタのサーブで同点に追い付いたPFUであったが、姫路は田中の連続スパイクで再びリードを奪う。このリードを守り姫路がセットを取り返した。第3セット、PFUは志摩、アコスタのスパイクでスタートから突き放しにかかる。姫路は荒谷のセンター攻撃、貞包、金杉のスパイクで反撃し終盤に追い付く。ここから1点を争うシーソーゲームになったが、最後はPFUの高相が決めてセットを取った。第4セットに入っても流れはPFUにあった。高相、アコスタ、志摩が着実に得点し、リードを保ったまま中盤へ。姫路は荒谷、長野のブロックでスパイクを止めようとするが点差は縮まらない。終盤コートに入った孫田がスパイクを決めるも、流れは変わらずPFUが勝利した。

試合番号 : 441	試合会場 : 埼玉県立武道館	観客数 : 357
開始時間 : 12:30	終了時間 : 14:43	試合時間 : 02:13
主審 : 津嶋 由香	副審 : 戸川 太輔	
日立リヴァーレ		通算 1勝 1敗 ポイント: -
監督コメント		監督コメント
要約レポート		要約レポート
今日の7位決定戦は、全員でつかんだ勝利です。チームが一つとなり、何があっても1点を取ると強い気持ちがコート上で表現できました。今シーズンを通して、苦しい試合が続いたこともあり、何度か大きな壁にぶつかりました。悔しい試合も多かったですが、それ勝利がもがきながらもここまでこのメンバーで戦ってこれたこと、そして、勝利がリーグを終えられたことは、本当に嬉しく思います。また、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で様々な不安がありながらも、無事に今日まで戦い抜けたことにほっとしています。沢山の皆様のご支援ご声援のおかげで私たちは試合に臨めました。ファンの方々も会場でお会いする機会が少なかったですが、それでも画面越しに沢山のエールを届けてくださったこと、とても感謝しています。本当にありがとうございました。		25 第1セット 19 23 第2セット 25 14 第3セット 25 28 第4セット 26 17 第5セット 15
		3
		2
		久光スプリングス
		通算 0勝 2敗 ポイント: -
		監督コメント
		監督コメント
		このグループで戦える最終戦を勝利で締めくくることができたが、力及ばずであった。試合を通して重要な局面でのあと1点が遠かった。また、相手の気迫のこもったプレーに飲まれ、相手の勢いを抑えることができなかった。この結果を受け止め、課題を見つめ直し、V Cupへと向かいたい。例年とは異なるリーグとなったが、リーグを最後まで迎えられたことに感謝申し上げます。たくさんのご声援ありがとうございました。
		第1セット、序盤、日立リヴァーレがサーブで崩しリードする。対する久光スプリングスは野本を中心に攻撃を組み立て、中盤まで競った展開となった。日立は途中交代した長内のスパイクを軸に得点を重ね流れを引き寄せ、最後は上坂がスパイクを決めてセットを先取した。第2セット、一進一退の攻防が続く中、日立が緩急をつけて攻撃するも久光がうまく対応しリードを広げる。久光は終盤の長いラリーを制すると、その後、アキラデウオの連続ブロックとスパイクでセットを取り返した。第3セット、久光はセッター井上(美)のトスワークが冴え、それに応じた荒木、石井、野本のスパイクで大きくリードを広げた。対する日立は上坂、長内、タップの攻撃で追いつくも、最後は久光の荒木がブロックを決め、セットを連取した。第4セット、久光は戸江を中心としたレシーブで得点のチャンスを活かしてリードを広げた。中盤、日立は入澤のサーブで相手を崩し、上坂のスパイクで流れを変え逆転に成功した。久光は石井、井上(愛)のスパイクで再び逆転するも、日立は粘りを見せ、野中のサーブでセットを取り返しフルセットへ持ちこんだ。第5セット、久光はアキラデウオが連続でブロックを決め6-1とリードするが、日立の上坂が緩急つけた攻撃で逆転し、8-7で折り返す。久光はリリーフサーバー平山の鋭いサーブでレシーブを崩し再び優位に立つが、日立も粘りを見せ食らいつき、最後は上坂がスパイクを決め、日立が勝利を手にした。

試合番号 : 442	試合会場 : 埼玉県立武道館	観客数 : 218
開始時間 : 15:45	終了時間 : 17:48	試合時間 : 02:03
主審 : 浅井 唯由	副審 : 本間 明	
埼玉上尾メディックス		通算 2勝 0敗 ポイント: -
監督コメント		監督コメント
要約レポート		要約レポート
私達は、大きな進化をもたらすために変化を伴っているチームとしては未成熟なチームです。その私達がこのリーグ戦で5位になること、また、トップリーグで7連勝というチームとしての最多連勝を成し遂げたことは、今後に向けて非常に輝かしいことです。チームの成長に必要な個々の能力の底上げ、チームが良くなることを信じてくれた全ての選手に感謝いたします。今シーズン、リモートマッチが多くファンの皆様の前でプレーする機会が少なかったですが、全ての応援が私達の力になりました。引き続き進化する私達の応援をよろしくお願いします。		17 第1セット 25 25 第2セット 23 25 第3セット 20 25 第4セット 20 第5セット
		3
		1
		岡山シーガルズ
		通算 1勝 1敗 ポイント: -
		監督コメント
		監督コメント
		今シーズンの課題、ポイントであった終始リードしながら焦りからくる上げいそぎ、打ちいそぎが解決できなかった。個々の技術力をよく自覚し、メンタルの安定性が来季に向かって必要である。今シーズンコロナの影響で大変な中、たくさんの方々に応援していただき、心よりお礼申し上げます。また、開催にご尽力いただいた皆様、ありがとうございました。
		埼玉上尾メディックスと岡山シーガルズの5位決定戦。第1セット、序盤は一進一退の攻防が続く中、岡山は金田、及川の連続ブロックが決まり流れを呼び込みリードする。埼玉上尾は吉野、内瀬戸、青柳の攻撃で追い上げを見せるが、終盤、岡山は粘り強いレシーブから吉岡が強烈なスパイクを決め引き離し、岡山がセットを先取した。第2セット、序盤、埼玉上尾は佐藤、ジセフ、吉野の攻撃で攻めるが、岡山は宇賀神がそれをブロックで止め、手に汗握る展開が続く。中盤、埼玉上尾はサンティアゴの高い打点からのスパイクを決め、岡山を引き離す。岡山は及川、川島を中心に巧みな攻撃を見せ、相手のブロックを翻弄するが一歩及ばず、最後は埼玉上尾が佐藤の攻撃でセットを取り返した。第3セット、勢いに乗った埼玉上尾に対して、岡山は強烈な1本を決める。対する埼玉上尾も負けじとサンティアゴがスパイクを決め流れを呼び戻す。中盤、岡山は渡邊が華麗な攻撃を決め追い上げにかかるがそれを許さず、最後に埼玉上尾はサンティアゴ、佐藤がスパイクを決め、セットを取った。第4セット、岡山はセッター宮下(蓮)に代え、早いトスワークで流れに乗る埼玉上尾を翻弄し、渡邊、吉岡が好レシーブを見せ、埼玉上尾の強力な攻撃を拾い続ける。終盤、埼玉上尾はチーム一丸となり内瀬戸、佐藤が好レシーブから強力なスパイクを決め、追従を許さない。岡山も追い上げを見せるが、熱戦の末、埼玉上尾が制した。

試合番号 : 443		試合会場 : 大田区総合体育館				観客数 : 651			
開始時間 : 12:30		終了時間 : 14:12		試合時間 : 01:42		主審 : 原 啓之		副審 : 江下 毅	
デンソーエアリービーズ 通算 0勝 2敗 ポイント : -		NECレッドロケッツ 通算 1勝 1敗 ポイント : -		25 第1セット 19 14 第2セット 25 21 第3セット 25 19 第4セット 25 第5セット		1 3 監督コメント この試合に勝ち、3位をつかみ取ることができて大変嬉しく思います。昨日の敗戦は私達にとって受け入れがたいもので、試合までの時間も短く、切り替えることは難しかったのですが、応援していただいているファンの皆様のためにも、勝って良い表情で終わろうと、チーム全体でコートで全てを出し切ってくれました。これからまた来シーズンの優勝に向けて強くなっていきたいと思います。2日間たくさんの応援ありがとうございました。コロナで難しいシーズンでしたが、皆様の力は私達にとって本当に大きいものでした。すぐにはCupが始まりますので、来週も熱い応援をよろしくお願いいたします。		要約レポート 昨日の敗戦をバネに何としても3位をものにしたいデンソーエアリービーズとNECレッドロケッツの試合。第1セット、序盤からデンソーはブレイクを決め主導権を握った。それに対しNECも廣瀬、曾我が攻める。中盤までデンソーはそのリードを守り切り有利に試合運び、終盤に入っても攻撃の手を緩めず攻めた。最後はデンソー工藤の攻撃が決まり、セットを先取した。第2セット、NECの反撃が始まる。廣瀬のブロック、アタックが決まり、このセットのスタートダッシュに成功。その後もサーブで崩し、NECがリードを奪った。終盤に入ってもNECは曾我、古賀の連続ブロックが決まりデンソーの攻撃を退け、最後は曾我の攻撃が決まり、NECがセットを取り返した。第3セット、NECは古賀のサーブから4連続得点をあげてスタートダッシュに成功した。その後もセッター澤田の絶妙なトスにより廣瀬、曾我、古賀を使いリードを広げた。最後はNEC川上のサーブからデンソーのミスで、NECがセットを連取した。第4セット、後のないデンソーは序盤からブレイクを集めるが、NECは小島がよく拾い得点に結びつけさせない。しかし、デンソーは中元のサービスエースなどで追いつくことに成功。終盤に入り、デンソーは中元の連続アタックポイントもあったが、NECはまたもリードを奪い、最後は島村のアタックでNECが勝利を手にした。	

試合番号 : 444		試合会場 : 大田区総合体育館				観客数 : 836			
開始時間 : 17:11		終了時間 : 19:07		試合時間 : 01:56		主審 : 明井 寿枝		副審 : 山本 晋五	
東レアローズ 通算 1勝 1敗 ポイント : -		Jマーヴェラス 通算 2勝 0敗 ポイント : -		25 第1セット 23 21 第2セット 25 21 第3セット 25 20 第4セット 25 第5セット		1 3 監督コメント 苦しかったことから逃げず、正面からチーム全員向き合ったシーズンでした。私達がスポーツを通じて今何ができるのかを考え、感謝の気持ちを込めて戦えました。二連覇の重圧もありましたが、私達のスローガンでもある「再輝(さいき)」を実現できたことに対して、Jクループ、チーム関係者、応援してくださった方々、そして素晴らしい選手達にありがとうの言葉を送ります。まだまだシーズンは続きます。良い時も悪い時もJマーヴェラスのバレーボールをして、最高の輝き、最大の感動を皆様にお届けできるように頑張っています。		要約レポート レギュラーラウンドを含め全勝中の東レアローズと、昨日フルセットの末ファイナルの切符を手に入れたJマーヴェラスの試合。第1セット、序盤から中盤にかけて両チームとも司令塔の活躍があり、全員バレーで一進一退の攻防となる。終盤にかけてJのミスが目立ち、東レにリードを許す。最後は東レが黒後のブロックで追いつくが、東レは振り払った。第2セット、序盤から1点を追う白熱したゲーム展開となった。中盤、Jはタツタオのブロックなどもありリードを奪う。流れを変えようと東レはセッターを白井に代えるが、Jタツタオのブロックが要所で決まる。終盤に入り、東レが点差を詰める場面もあったが、最後はJ田中の鋭いアタックが決まり、セットを取り返した。第3セット、序盤から中盤にかけて両チームとも緊張感があり、1点を追う目の離せないゲーム展開となった。終盤に入り、Jはタツタオのサービスエースなどで東レを突き放し、最後はドルズの鋭いアタックが決まり、Jがセットを連取した。第4セット、序盤から中盤にかけてJがリードを奪っていたが、東レはクランの活躍で追いつくことに成功した。その後も激しい攻防が続いたが、終盤に入りJはドルズのアタック、芥川のブロックが決まり、リードを広げ、最後はドルズのアタックが決まり、Jが優勝を果たした。	

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -				第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット				監督コメント	
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -				第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット				監督コメント	
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									